

技術士（農業部門・植物保護）制度について

日本植物病理学会 技術士対応委員会

技術士制度：科学技術に関する高度な専門知識と応用能力及び技術者倫理を備えた優秀な技術者を国（文部科学省所管）が認定する制度。

技術士・技術士補の定義：技術士は、技術士法に基づき、技術士の名称を用いて、科学技術に関する高等の専門的応用能力を必要とする事項についての計画、研究、設計、分析、試験、評価又はこれらに関する指導の業務を行う者。技術士補は、技術士法に基づき、技術士補の名称を用いて、技術士となるのに必要な技能を修習するため、技術士の業務について技術士を補助する者。

技術士の要件：技術士第二次試験に合格し、法定の登録を受け、科学技術の高度な専門応用能力を必要とする事項について、計画・研究・設計・分析・試験・評価、またはこれらに関する指導業務を行うこと。

技術士補の要件：技術士第一次試験に合格し、又は「認定された教育課程（JABEE）」を修了し、法定の登録を受け、技術士となるのに必要な技能を修習するため、技術士を補助すること。

技術士の部門：機械、電気電子、化学、建設、農業、生物工学など全21部門があり、2008年時点で、技術士試験合格者総数は約87,000名（平均合格率19.6%）、技術士補試験合格者総数は約117,000名（平均合格率35.3%）。

技術士（農業部門）：畜産、農芸化学、農業土木、農業及び蚕糸、農村地域計画、農村環境、植物保護の7専門科目を含む。2008年度の技術士試験合格者は221名（合格率25.3%）、技術士補試験合格者は339名（合格率52.3%）。

技術士（農業部門・植物保護）：2004年に専門科目「農業及び蚕糸」から独立して新設。植物保護の内容は、病害虫防除、雑草防除、発生予察、農薬その他の植物保護に関する事項。2008年度の技術士試験合格者は6名（うち本会会員2名）、技術士補試験合格者は十数名（うち学生5名）。2008年までの累計では、技術士試験合格者は19名、技術士補試験合格者は約40名。

〔参考〕植物保護に関連する他の主な資格：

- 樹木医・樹木医補（日本緑化センターが認定する民間資格）
- 緑の安全管理士（緑の安全推進協会が認定する民間資格）
- 農薬管理指導士（都道府県が認定する期間限定資格）

技術士（農業部門・植物保護）の活躍が期待される分野：

- 食の安定供給（食用作物・飼料作物の病害虫・雑草防除）
- 食の安全確保（安全な農薬の開発、残留農薬等の検査・汚染防止、組換え作物・食品の適正管理、トレーサビリティの確立）
- 衣・住の安定供給（繊維作物・林木の病害虫防除）
- 自然環境の保全（環境保全型農業の推進、農薬使用の適正管理、緑地・森林の保護管理、生物多様性の維持、地球生態系の保全）

技術士育成推進委員会の活動：日本植物病理学会、日本応用動物昆虫学会、日本雑草学会、日本農薬学会、植物化学調節学会からの委員で構成され、技術士（農業部門・植物保護）100名創出を目標として、学会員の受験を促進する活動ならびに植物保護に関連する行政部局、大学、独立行政法人研究機関、公立研究機関、民間企業に対して技術士の活躍の場を確保してもらうための活動を展開。

技術士補試験（第一次試験）の概要：

受験資格；資格制限なし

試験科目（時間・配点・合格基準）と内容（全科目択一式解答）；

- 基礎科目（1時間・15点・6点以上）；科学技術全般にわたる基礎知識
適性科目（1時間・15点・8点以上）；技術士の義務・倫理に関する適性
共通科目（2時間・20点x2・各平均点以上）；数学, 物理学, 化学, 生物学, 地学のうちの2科目.
ただし, 4年制大学理系卒業者は免除
専門科目（2時間・50点・20点以上*）；当該技術部門（農業）に係る基礎知識と専門知識
*ただし, 基礎科目+専門科目=33点以上（35問中25問を選択解答）

試験日程：平成21年10月12日（祝日）

試験会場：全国12カ所

受験申し込み：平成21年6月1日-6月15日（インターネット）

平成21年6月16日-7月3日（郵送）

合格発表：平成21年12月（官報公告）

技術士試験（第二次試験）の概要：

受験資格；技術士補資格を保有し, 資格取得後4年あるいは取得前も含めて7年以上の実務経験を有する者（大学院在学歴2年も算入）。なお, 技術士補資格を有する技術部門に限らず, すべての技術部門の中から1つを選択受験できる。

[筆記試験]

試験科目（時間・配点・合格基準）と内容；

必須科目（2時間30分・50点・30点以上）；技術部門（農業）全般にわたる論理的考察力と課題解決能力(記述式解答：600字×3枚以内)

選択科目（3時間30分・50点・30点以上）；選択科目（植物保護）に関する専門知識と応用能力(記述式解答:600字×6枚以内)

試験日程：平成21年8月2日（日）

試験会場：全国12カ所

受験申し込み：平成21年4月1日-4月16日（インターネット）

平成21年4月17日-5月7日（郵送）

合格発表：平成21年10月

[口頭試験] 筆記試験合格者に対して行う。

技術的体験論文の提出；図表等を含め3,000字以内でA4用紙2枚以内(平成21年11月9日締め切り)

諮問事項（合計45分・配点・合格基準）；

受験者の技術的体験を中心とする経歴の内容と応用能力（40点・60%以上）

必須科目及び選択科目に関する技術士として必要な専門知識及び見識（40点・60%以上）

技術士としての適格性及び一般的知識（20点・60%以上）

試験日程；平成21年12月-平成22年1月までのあらかじめ受験者に通知する1日

試験会場：東京

合格発表：平成22年3月（官報公告）

参考文献：

技術士試験受験のすすめ（パンフレット：日本技術士会）

技術士（農業部門・植物保護）のすすめ（日比忠明・田付貞洋：植物防疫60, 51-53, 2006）

技術士第一次試験問題集（通商産業研究社）

技術士第一次演習問題集（農業部門（テクノ））

技術士第一次試験「基礎・適性」科目キーワード700（日刊工業新聞社）

技術士第二次試験問題集（通商産業研究社）

食料・農業・農村白書（時事画報社）

参照HP：

日本植物病理学会 技術士ページ：<http://www.ppsj.org/engineer.html>

日本技術士会：<http://www.engineer.or.jp/>

技術士受験支援塾：<http://www.pejp.net/pe/>